TME **S**OFTWARE 40T RO3

車載システム向け 選択的MCDC測定ツールの構築

テクマトリックス(株)

渡辺洸平

kowatanabe@techmatrix.co.jp

テストにおける問題点

高信頼性が求められる組込みシステムのテストでは、 Modified Condition/Decision Coverage (MC/DC) を網羅する事が1つのテストの評価基 準として適用される. MC/DCの網羅には、より多 くのテストケースを作成する必要があり、条件数が 多い場合のテストケース数の肥大化, 作成にかか る時間といった面での課題がある.



手法・ツールの適用による解決

テストケースの品質(MC/DCの基準に着目)を 効率的に計測するため、観測する判断文を車載 システムソフトウェアの特徴に基づき選択する手法 を提案する. 本手法を用いて、テストの品質へ影 響度が低い不要な判断文・条件を観測対象から 除外する事で、MC/DCの網羅に必要なテスト ケース数の削減が見込める.

選択的Modified Condition/Decision Coverage

車載システムの特徴から判断文の選択方法を検討

- 重複した判断文の除外
- 単純な演算による条件分岐の除外
- 特定の演算子による判断文の変更

MC/DCの網羅対象となる判断文の 一部を除外して、網羅する方法に着目 ■判断文の選択例 ※ハイライト箇所 = 1判断文



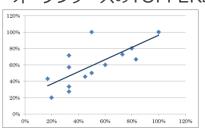
LOG_GETRES_ENTER(ResID);
CHECK_DISABLEDINT();
CHECK_CALLEVEL(CALLEVEL_GETRESOURCE);

**TOTALLEVEL(CALLEVEL_GETRESOURCE);*/ ceilpri = p_rescb->p_resinib->ceilpri;
if (callevel_stat == TCL_TASK) {
 CHECK_ACCESS(p_runtsk->p_tinib->inipri >= ceilpri); x_nested_lock_os_int(); x_set_ipm(ceilpri);

- テストケースを作成する判断文・条件を 減らす(判断文、条件数6→4)

評価実験

オープンソースのTOPPERS ATK2を用いた実験



横軸:通常のテストケースの網羅率 縦軸:本手法適用時の網羅率

青線: P1適用結果 赤線: P2適用結果 緑線: ランダムによる除外結果

手法適用時のテストケースの網羅率の近似曲線、 及び本手法を適用せずに網羅する判断文を選択し た場合の比較結果

実MC/DCにより近い網羅率を測定できた

適用結果

本手法適用時のテストケース数の比較結果

評価対象	テストケースの総数	
	選択的MCDCの適用	未適用
resource.c	10件	18件
osctl_manage.c	8件	11件
event.c	8件	17件
rh850_f1h.c	22件	30件
interrupt.c	8件	9件
合計	56件	85件

実MC/DCの計測より、作成するテストケース数を 削減できる事が確認できた

提案手法により近似的なMC/DCの効率的な測定が見込める